

2025日本国際博覧会の食材調達コードを
満たす畜産物供給促進事業

農場HACCP認証へのご案内

(持続可能性配慮の農場HACCP認証指定を含む)



公益社団法人 中央畜産会

HACCPは… 宇宙食からはじまりました!



農場HACCPの基となっているHACCPは、確実に安全な食品を作る必要がある宇宙食のために、米国のNASAが発案した手法で、食品製造の分野では世界中で取り入れられています。

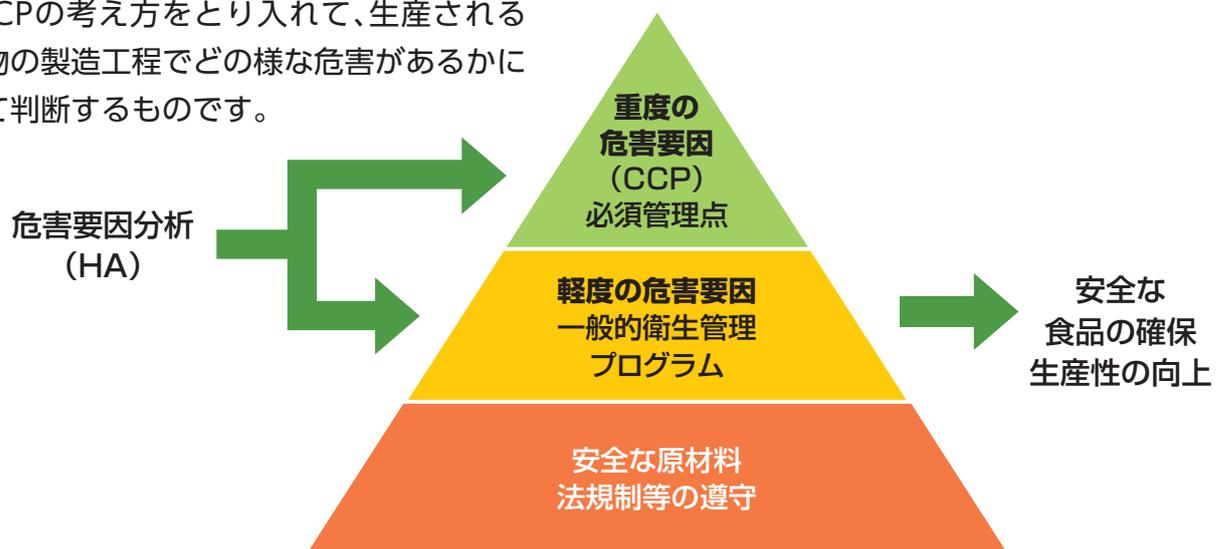
食品の原材料や、製造の全工程で、どこにどのような危害があるのか、それはどんな管理をすれば避けることができるのかを判断し、文書化し、実行して記録を残すことにより、安全性を保証する衛生管理のシステムです。

(参考)HACCPの意味とは

HACCPは **Hazard Analysis Critical Control Point** の頭文字をとったもので危害要因分析(HA)必須管理点(CCP)といわれるものです。



農場HACCPは農場の飼養衛生管理にHACCPの考え方をとり入れて、生産される畜産物の製造工程でどのような危害があるかについて判断するものです。



農場HACCPシステムについて

HACCPの考え方を農場に取り入れたのが 農場HACCPです

農場HACCPは、HACCPの考え方を、肉用の家畜を育てたり、卵や牛乳などの畜産物を生産する工程に取り入れ、農場で生産される畜産物の安全性を確保するシステムです。

農場HACCPの一例(肉用牛の場合)



1つ1つの工程や作業でしっかりと管理
問題が起きた場合にも、記録等による原因の特定と改善ができます

安全な畜産物を食卓へ！

農場HACCPの取り組みではHACCP、PDCAサイクルの衛生管理システム継続的改善を進めることで衛生管理の向上、生産性の向上、更には食品の安全性の質をより高めていくことができます。



これまでの経緯と普及状況

農場HACCP認証の経緯

- 農林水産省は、平成16年に、畜産現場において遵守すべき「飼育衛生管理基準」を策定。
- 農林水産省は「飼育衛生管理基準」を基本に、CODEXやISOの基準に基づき、平成21年度に「畜産農場における飼育衛生管理向上の取組認証基準(農場HACCP認証基準)」を公表。
- 平成23年、認証業務の推進及び普及を進めていくため、農場HACCP認証協議会が設立。
- 中央畜産会及びエス・エム・シー株式会社が認証協議会から認証機関として認定され、認証業務を開始。

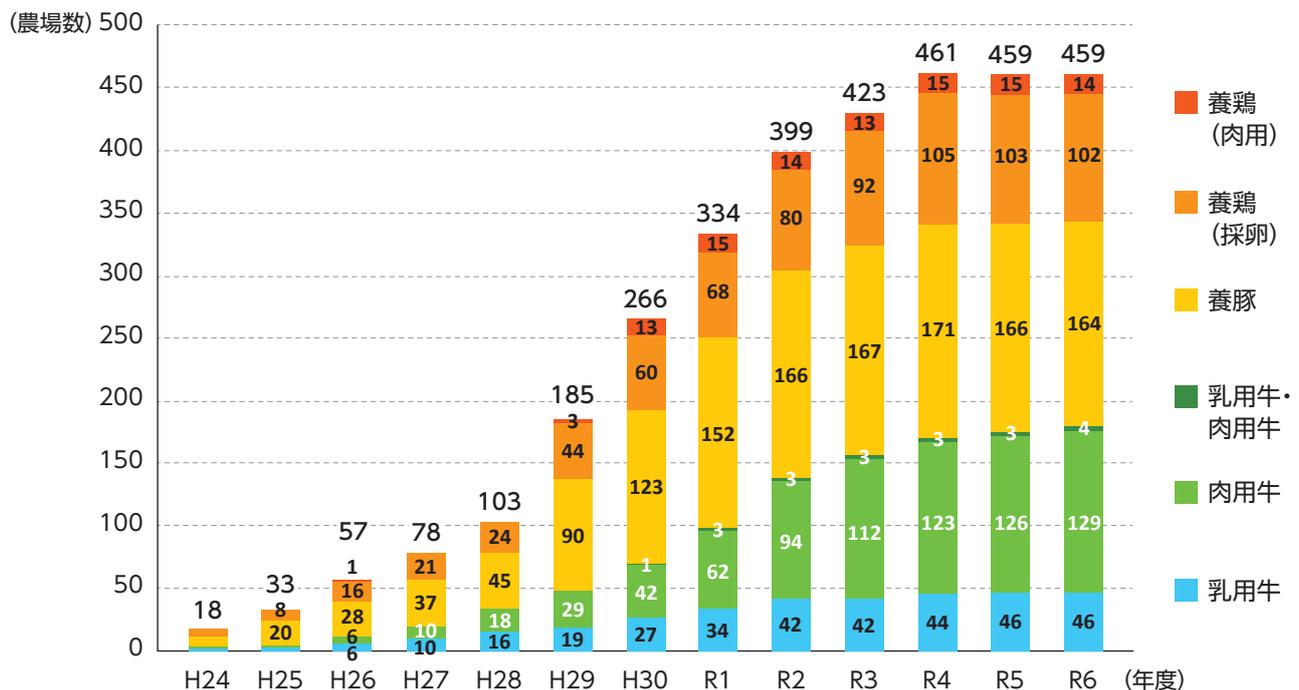
農場HACCP認証の現状(認証農場数の推移)

平成23年度の認証業務の開始以降、認証農場は順調に増加を続け、令和6年10月時点の認証農場数は459農場です。

内訳は、乳用牛(46)、肉用牛(129)、乳用牛・肉用牛(4)、豚(164)、採卵鶏(102)、肉用鶏(14)

特に平成29年度から認証農場が大幅に増加し、令和3年度までの5年間で2倍以上に拡大しました。

農場HACCP認証取得農場数の推移(令和6年10月8日時点)



認証取得のメリット

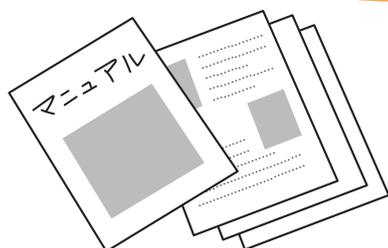
認証取得した場合の“メリット”について

農場HACCPに取り組む生産者の声(例)

担当者の衛生意識や、
農場の衛生レベルが向上し、
家畜伝染病の侵入防止に
役立っている

家畜の育成率が向上し、
生産コストの低減や
収益性の改善につながった

出荷先からのクレームが
減少し、信頼の向上に
つながった



農場HACCP認証マークの使用

(表示例)

認証番号



農場名

認証農場は、農場の看板やホームページなどに農場HACCP認証マークを表示することができます。

また、平成30年7月から、農場HACCPに取り組んで生産された畜産物であることを示す認証マークを畜産物にも貼付できるようになり、小売店等で認証農場の畜産物であることがわかるようになりました。

農場HACCPの認知度の向上

- 農場HACCPは、安全な畜産物の生産、衛生管理の向上、収益性の改善等といった点で高い評価を受けています。
- 一方で、流通業者・消費者における認知度が不十分、販売面でのメリットが感じられにくいとの声もあります。
- 中央畜産会では、流通業者や消費者をターゲットとした農場HACCPの理解促進につながる平易でわかりやすい情報を発信中です。(生活情報誌、YouTube、HP等)

中央畜産会 ホームページ



<https://jlia-farm-haccp.jp/index.html>



分かりやすいパンフレット



農場HACCPの3分動画を配信中 (YouTube)



実写版



まんが版

農場HACCP認証の今後の推進方向

SDGs等の社会的ニーズへの対応

- 最近のSDGs(持続可能な開発目標)等に関する社会的ニーズに対応することが重要であると考えられます。
- 農場HACCP認証農家がJGAP認証との差分審査を受けることで、SDGsに対応したJGAP認証を取得することが可能となっています。
- 農場HACCP認証は2025大阪・関西万博の「持続可能性に配慮した畜産物の調達基準」の中で、生産者の持続可能性の取組みを一層促進する観点から、調達することが推奨されると位置づけられています。
- 中央畜産会では、農場HACCP認証農場の中で、持続可能性に配慮した取組みを行っている農場を確認し指定する業務を行っています。本指定は、JGAP畜産認証と同じ2025大阪・関西万博の「**持続可能性に配慮した畜産物の調達基準**」を満たす認証スキームです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能性配慮の農場HACCP認証農場の指定について



(参考)

2025大阪・関西万博における食材調達コードの要件

- 食品の安全の確保
- 環境保全に配慮した畜産物生産活動の確保
- 作業者の労働安全の確保
- 作業者の人権保護の確保
- 快適性に配慮した家畜の飼養管理(アニマルウェルフェア) 等



ぜんぶのいのちと、
ワクワクする未来へ。

開催期間 2025年4月13日(日) - 10月13日(月)
開催場所 大阪 夢洲(ゆめしま)



農場HACCP認証基準に基づく、農場の認証申請について
もっと詳しくお知りになりたい場合には、下記までお問い合わせください。

公益社団法人 中央畜産会

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-16-2 第2ディーアイシービル9階
TEL 03(6206)0832 FAX 03(3256)9311 E-mail eisei@sec.lin.gr.jp URL <https://jlia.lin.gr.jp>